契 約 変 更 理 由 書

神戸市

工　　事　　名	ポートアイランド地区浸水対策工事

工事概要

道路嵩上げ工　L=1,100m

排水機場整備　2 箇所

雨水ポンプ設置工　4 基

工期　令和 4 年 9 月 22 日～令和 6 年 12 月 31 日(275 日)

契約変更の理由

【設計変更】

・管布設工及び人孔築造工の廃工

試掘の結果、護岸タイロッドへの干渉が不可避のため、今回の工事での実施を見送り減工となった。

・№2 ポンプ　地中障害物撤去（φ1500,L=8.5～9.5）

ボーリング調査により基礎捨石層と転石が確認できたため、全旋回オールケーシングによる撤去工が増工となった。

・№2 及び№3 ポンプ　地盤改良工

ボーリング調査の結果、現地盤において薬液注入工法では十分な遮水効果が期待できないと判明したため、土留め工を背後地盤の改良が不要となる鋼矢板工法（硬質地盤クリア工法）に変更し、高圧噴射撹拌工による地盤改良を行う。

・ポンプ設備自動化対応

本工事で整備するポンプ設備の電源は高圧受電であるため、商用電源ではなく台風時期に合わせて設置する発電機により受電する。当初設計では稼働状況を確認する必要があるが、制御盤を一部改造することでポンプ設備及び発電機の稼働状況等を遠隔で監視することが可能となり、職員の安全確保と防災機能の向上に繋がる。また当初発注では、令和３年度に類似のポンプ設備を整備済みであることから、同じ仕様としていたが、制御盤の低圧受電が可能であるなど遠隔監視のための一部改造が可能となったことから、設計変更の対象とする。

・既存管との接続に伴う排水対策工

本工事におけるポンプ槽は既設雨水幹線を切断して設置する。当初設計では既設雨水管を止水プラグ（φ1500）にて閉塞し、ドライ条件で仮排水管（バイパス管）を設置する予定であった。しかし予定していた止水プラグが全国に６基しかなく、現地着手する際にそれらすべて貸し出されており、返却時期も未定であることが判明し、工事完成の目途がたたなかった。現場では道路の通行止めや沿道事業者の出入口を閉鎖しており、工事を継続するため既設雨水管を閉塞せずに水中施工で仮排水管の設置撤去を行う必要があり、増工となる。

・安全費

上記ポンプ施設の工事期間の延長に伴い、所轄警察署と再協議を行った結果、安全対策費が増工となる。

【工期延期】

道路嵩上げに伴う高さ調整で民地（マンション敷地）内での工事が必要となっていたが、一部住民の強硬な反対もあり合意形成にかなりの時間を要した。そのため、道路嵩上げ工事の着手が大幅に遅れたため、２７５日の工期延長を要する。

（公表様式第６号）